

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 名

上場会社名 美濃窯業株式会社

コード番号 5356 URL <http://www.mino-ceramic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 滋俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員管理部門担当 (氏名) 中尾 晴一郎

TEL 052-551-9221

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,567	25.0	202	569.1	213	380.7	134	289.3
26年3月期第1四半期	2,053	△4.1	30	—	44	15.5	34	401.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 185百万円 (238.6%) 26年3月期第1四半期 54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.80	—
26年3月期第1四半期	3.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,777	7,180	51.1
26年3月期	12,793	7,008	49.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 6,529百万円 26年3月期 6,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,650	8.1	230	57.4	240	49.9	120	20.3	11.45
通期	10,000	6.0	500	92.2	520	61.2	270	76.4	25.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
除外2社 美濃窯業製陶株式会社、モノリス株式会社
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	12,909,828 株	26年3月期	12,909,828 株
27年3月期1Q	2,399,998 株	26年3月期	2,430,593 株
27年3月期1Q	10,503,078 株	26年3月期1Q	10,449,333 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍内閣による各種経済政策の効果から、景気は全般的に回復基調が続きました。しかし、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から個人消費は弱含みで推移し、住宅投資も同じく減少の動きが見られました。

企業の設備投資は回復基調の兆しは見られましたが、今後の景気見通しには不透明感もあり、本格的な設備増強の動きは限定的なものとなっています。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、主要需要先であるセメント業界の6月の国内販売量が、工事現場での作業員不足が原因で生コンクリートの出荷が低迷し、18ヶ月振りに前年を下回るなど頭打ちの状況が見られるなか、耐火物事業は売上高が回復傾向を辿ったものの、原燃料価格上昇の影響もあり前年同四半期の利益を若干下回る結果となりました。

プラント事業は、環境関連の設備投資の増加により前年同四半期比で大幅に業績が回復した一方、建材及び舗装用材事業は競合激化、コスト増加により受注、売上高、利益面ともに厳しい結果となりました。また、不動産事業は本年1月末に購入したオフィスビルの賃貸収入が増加し、収益の底上げに寄与しました。以上により、総合的には第1四半期の業績は好調なものとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,567百万円（前年同四半期比25.0%増）、営業利益202百万円（前年同四半期比569.1%増）経常利益213百万円（前年同四半期比380.7%増）、四半期純利益134百万円（前年同四半期比289.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

流動資産は、たな卸資産や有価証券などが減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、全体としては7,907百万円（前連結会計年度末比3百万円増）となりました。固定資産は、投資有価証券などが増加したものの、長期性預金が減少したことなどにより、全体としては4,870百万円（前連結会計年度末比18百万円減）となりました。その結果、資産合計では、12,777百万円（前連結会計年度末比15百万円減）となりました。

(負債の状況)

流動負債は、未払消費税等が増加したものの、支払手形及び買掛金や賞与引当金が減少したことなどにより、全体としては3,910百万円（前連結会計年度末比210百万円減）となりました。固定負債は、退職給付に係る負債の増加などにより、全体としては1,686百万円（前連結会計年度末比23百万円増）となりました。その結果、負債合計では、5,597百万円（前連結会計年度末比187百万円減）となりました。

(純資産の状況)

純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより7,180百万円（前連結会計年度末比172百万円増）となり、自己資本比率は51.1%（前連結会計年度末比1.2ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期は、上記のとおりであります。平成26年5月9日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました美濃窯業製陶株式会社及びモノリス株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,969,287	1,904,538
受取手形及び売掛金	3,610,991	3,973,598
有価証券	201,810	103,718
たな卸資産	1,826,622	1,702,931
その他	297,801	224,259
貸倒引当金	△2,310	△1,747
流動資産合計	7,904,202	7,907,298
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,034,293	2,034,293
その他(純額)	1,336,175	1,312,429
有形固定資産合計	3,370,468	3,346,722
無形固定資産		
	47,648	44,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,146,833	1,216,785
その他	341,938	280,854
貸倒引当金	△18,068	△18,148
投資その他の資産合計	1,470,703	1,479,491
固定資産合計	4,888,820	4,870,437
資産合計	12,793,022	12,777,736
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,762,261	1,588,252
短期借入金	1,130,000	1,130,000
1年内償還予定の社債	470,000	470,000
未払法人税等	48,390	40,495
賞与引当金	218,900	102,861
役員賞与引当金	4,000	1,539
製品保証引当金	22,605	30,139
工事損失引当金	2,855	10,556
その他	462,463	537,148
流動負債合計	4,121,474	3,910,991
固定負債		
社債	630,000	630,000
役員退職慰労引当金	189,806	184,737
退職給付に係る負債	590,896	599,918
資産除去債務	51,320	51,444
その他	201,209	220,219
固定負債合計	1,663,232	1,686,318
負債合計	5,784,707	5,597,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	443,092	445,652
利益剰余金	5,398,518	5,508,047
自己株式	△580,993	△571,137

株主資本合計	6,137,617	6,259,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245,239	272,988
退職給付に係る調整累計額	△4,498	△3,373
その他の包括利益累計額合計	240,740	269,615
少数株主持分	629,956	651,248
純資産合計	7,008,314	7,180,425
負債純資産合計	12,793,022	12,777,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,053,424	2,567,379
売上原価	1,629,929	1,937,887
売上総利益	423,495	629,491
販売費及び一般管理費	393,244	427,071
営業利益	30,250	202,419
営業外収益		
受取利息	1,758	958
受取配当金	11,581	12,994
その他	4,408	2,855
営業外収益合計	17,747	16,808
営業外費用		
支払利息	3,528	5,096
その他	58	665
営業外費用合計	3,586	5,761
経常利益	44,411	213,466
特別利益		
固定資産売却益	22,608	99
投資有価証券売却益	1,559	14,324
特別利益合計	24,167	14,424
特別損失		
減損損失	12,390	—
その他	1,525	—
特別損失合計	13,915	—
税金等調整前四半期純利益	54,663	227,890
法人税、住民税及び事業税	4,576	38,474
法人税等調整額	13,963	32,832
法人税等合計	18,540	71,307
少数株主損益調整前四半期純利益	36,122	156,583
少数株主利益	1,584	22,133
四半期純利益	34,538	134,450

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,122	156,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,799	28,244
退職給付に係る調整額	—	1,124
その他の包括利益合計	18,799	29,368
四半期包括利益	54,922	185,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,513	163,324
少数株主に係る四半期包括利益	2,409	22,627

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	982,245	578,978	473,611	10,526	2,045,362	8,062	2,053,424	—	2,053,424
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	359,940	—	7,657	2,351	369,949	9,678	379,628	△379,628	—
計	1,342,186	578,978	481,269	12,877	2,415,312	17,741	2,433,053	△379,628	2,053,424
セグメント利益	69,934	△3,804	△6,646	8,643	68,126	1,403	69,530	△14,867	54,663

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△14,867千円には、セグメント間取引消去△10,806千円、各報告セグメントに配分していない全社費用8,909千円、及びたな卸資産の調整額△12,970千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない固定資産売却益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、12,390千円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,134,872	931,004	431,589	52,190	2,549,657	17,721	2,567,379	—	2,567,379
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	303,457	—	600	2,351	306,410	—	306,410	△306,410	—
計	1,438,330	931,004	432,190	54,542	2,856,067	17,721	2,873,789	△306,410	2,567,379
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	68,393	149,233	△9,637	40,230	248,219	3,541	251,761	△23,870	227,890

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△23,870千円には、セグメント間取引消去△5,846千円、各報告セグメントに配分していない全社費用14,324千円、及びたな卸資産の調整額△32,348千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない投資有価証券売却益であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。